

2017年10月31日
日本原燃株式会社

全社としての改善の取り組みの強化に係る取り組み状況

1. 主な進捗状況

項目	概要	期限	状況 (10/23 現在)
「自ら気付き、速やかな対策につなぐことができない」ことの対策	セルフチェックの強化として、重要な保安業務の計画、実施状況を、実施者と異なる視点でチェックする「チェック責任者」を各事業部に配置する。	2017年 9月	【再処理】 9/15 事業部長が選任済 10/20 チェック体制の見直し及びチェック責任者の選任（変更） 【濃縮】 9/15 事業部長が選任済 【埋設】 9/14 事業部長が選任済
	安全・品質本部にてセルフチェックの強化および保安上重要な約束事項、指摘事項等の管理強化についての全体計画書を定める。	2017年 9月末	9/29 全体計画書制定済 10/16 全体計画書改正
	各事業部にて実施計画書（実施責任部署、スケジュールを含む：以下同様）を定め実施する。	2017年10月末 （計画書の策定前であっても、各々の重要度に鑑み可能なものから順次運用を開始する。）	10/20 実施計画書制定
CAP の運用の改善	現場の気づきを組織に伝えやすくするために、不適合情報だけではなく、気づきレベルの情報も取り扱うように、CAPの運用を改善する。	2017年 9月末開始	9/27 社長指示文書により対策を確実に履行するよう指示済 【再処理】 9/29 業務連絡書にて今後の運用について周知 【濃縮】 ルールは既に制定済のため変更の必要はなし 各部署にて管理していた壁のヒビ、軽度なサビ等について、9/29CAP 会合にて報告 【埋設】 9/26 CAP における保安検査気づき事項等の処置状況の情報共有開始 10/16 CAP 運用に係る「不適合管理実施要領」を改正 【安全・品質本部】 9/27 本部長指示文書にて指示 9/28 CAP 会合にて今後の運用について指示
説明責任	保安検査等において、適切な回答が実施できるように、安全・品質本部は保安検査等の対外対応を実施するに当たっての心得を策定する。	2017年 9月末	9/29 安全・品質改革委員会了承 9/29 「保安検査等の対外対応の心得」制定済
	心得の内容を事業部内に周知徹底する。	2017年 10月開始	【再処理】 10/10 周知 【濃縮】 10/12 周知 【埋設】 10/3 周知
	設備を管理下におく活動、北陸電力（株）志賀原子力発電所での雨水流入事象水平展開、ダクトの点検結果など不適合の発生、是正措置の状況等を含めて、社外へ発信する。	2017年 10月中旬	【再処理、濃縮、安品】 10/11 ホームページ掲載開始 【埋設】 今後実施予定

項目	概要	期限	状況 (10/23 現在)
「全社監視チーム」の設置	今回の一連の問題の対策に係る計画策定から実施結果検証に至るまでの各事業部の活動を全社でチェックするために、安全・品質本部に安全・品質本部長を主査とする社内横断的なチーム（全社監視チーム）を設置する。	2017年 9月末	9/29 安全・品質改革委員会了承
保安上重要な事象に対する社内検討体制の強化	大洗事故、志賀水平展開の水平展開など保安上重要な事象については、その計画、実施結果について事業部で行う安全委員会、全社で行う品質・保安会議での審議事項とする。また、迅速性、実効性を高めるため、これら委員会の下に専門家を含む特別に定める体制を設置し検討を実施できるようなルールを見直す。	2017年 10月中旬	【再処理】 10/20 「再処理事業部 再処理安全委員会運営要領」改正 10/20 「再処理事業部 貯蔵管理安全委員会運営要領」改正 10/20 「再処理事業部 再処理および貯蔵管理安全委員会 審議事項検討部会運営細則」制定 【埋設】 10/16 「予防処置実施要領」改正 10/16 「安全委員会検討WG 運営手順書」改正 【安品】 10/20 「品質・保安会議規程」改正 10/20 「品質・保安会議運営要則」改正
	当社は、今回の一連の問題（設備管理を管理下におく活動、志賀水平展開、ダクトの点検結果など）を踏まえ、不適合の発生、是正措置の状況等を含めて、ホームページに掲載するなど、社外へ発信していく。	2017年 10月中旬	【再処理、濃縮、安品】 10/11 ホームページ掲載開始 【埋設】 今後実施予定

※完了した項目については、黄色で網かけ

以上